

令和5年度第2回山梨県中小企業・小規模企業振興会議における意見  
～山梨県中小企業・小規模企業振興計画（改定）（素案）について～

（委員）豊かさ共創スリーアップ推進宣言に関するKPIは、達成可能な見込みか。  
（事務局）目標達成に向け、宣誓制度の周知や宣誓した企業への支援制度の拡充等を進める。

（委員）前回の振興会議で意見があった「新しいことに取り組む経営者を支援する経営者同士のつながりの場」は素案のどこに記載しているか。

（事務局）素案（資料2）の17ページ「スタートアップや起業の中核支援拠点の整備」に記載した。

（委員）中核支援拠点がプラットフォームとして設置されるのはよいこと。あとは、その中身、ソフト面での支援が大事。今後の検討事項ということによいか。

（事務局）今後、検討をしていきたい。

（委員）素案（資料2）34ページの手続きの簡素化について、ぜひお願いしたい。

（事務局）補助金申請ではチェックリストを設けるなど、引き続き簡素化に取り組んでいきたい。

（委員）能登半島地震もあったところ。BCPへの取り組みの強化は含まれているか。

（事務局）素案（資料2）28ページの「⑨中小企業・小規模企業の持続的な発展」に記載している。

（委員）キャリアアップ・ユニバーシティなどで育成したDX人材が中小企業で活躍できるよう、どのようにつなげていくのか。

（事務局）キャリアアップ・ユニバーシティでは、学びが実践につながるよう、事前に企業やご本人ともキャリアコンサルタントが面談をするなど、学びのプランを作成していく。また、経済団体等とも連携し、支援体制作りに取り組んでいく。

（委員）若年層の就職率だけでなく、女性やシニアなどに関する目標設定があっても良いのではないか。

（事務局）女性活躍といった点に関して、県では働き方改革等実態調査を実施している。まだ単純集計しかできていないが、今後クロス集計をする中で、どのような現状かを把握し、今後どのようなことに取り組んでいくべきか、検討していく。

(委員) やまなし産業支援機構で行っているプロフェッショナル人材戦略拠点事業は、リピーターが多い事業である。プロフェッショナル人材の確保を目標設定に入れたらどうか。

(事務局) 総合計画での成果指標を元に、目標を設定している。